



# 古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校  
〒894-1508  
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1  
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057  
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/>

## 3学期始業式

1月8日(金), 3学期の始業式が行われました。校長式辞(重吉 和久 校長)では「夢と目標」について、夢を叶えるためには具体的な目標を立てることが大切であるとお話になりました。また、3学期は3年生にとっては高校生活の総仕上げ、1・2年生にとっては進級に備える大切な学期と話され、生徒はメモを取りながら真剣に聴いていました。



## いじめ自殺対策及びネット依存に関する講演会

1月14日(木), 講師に NPO 法人ネットポリス鹿児島島の戸高 成人理事長をお迎えし、「いじめ自殺対策及びネット依存に関する講演会」を行いました。スマートフォン・携帯電話やパソコンなどに依存することで、様々なものを失うことや、うつや自殺にも繋がってしまうことを分かりやすくお話していただきました。生徒は、自分にあてはまることが多く、怖くなったという感想をもった様子で、自分の毎日の生活を振り返る良い機会となったと思います。また、職員や参加された保護者にとっても、非常に貴重な講話となりました。生徒一人一人が自分でしっかりと状況判断ができる人になってほしいです。



## プログラミング教室

今年度から瀬戸内町の助成を受けて、1年生を対象に総合的な探究の時間にプログラミング教室を実施(全6回)することになりました。奄美情報処理専門学校の福山洋志先生を講師に1月12日(火)からスタートし、1回目の内容はプログラミングの仕組みなど基礎を学びました。プログラム作成など課題解決に向けて苦戦していますが、今回の教室で多くの生徒がプログラミングに興味を持ってほしいです。



## デッサン講習会

1月21日(木), 大島地区の美術部をリモートでつなぎスクリーンで映した会場でデッサン講習会が開催されました。りんご、ティッシュ箱、ペットボトルをモチーフに、計4時間でデッサンを仕上げ、那覇造形美術学院の黄金忠博先生に審査・講評をしていただき、2年生の福島緋莉さんが上位10人のうちの1人に選ばれました。2年生の泰原明菜さんは「普段、見ることのできない他校の生徒のデッサンを見ることができ、とても刺激になりました。」と話しました。



## 県高校総合文化祭交流フェスタ・大島大会

1月22日(金), 「県高校総合文化祭交流フェスタ・大島大会(Web開催)」が開催され、本校は「生徒会役員・美術同好会・吹奏楽部」が参加しました。NHK 後夜祭では、「地元愛・島人の良さ」について披露しました。他校の発表も刺激になり、学ぶことの多い文化祭になりました。



創立90周年記念 第9号

### 「郷土の高校!古仁屋高校のあゆみ」

鹿児島県立古仁屋高等学校の時代③(昭和30(1955)年)~令和3(2021)年

古仁屋高校の正門奥、白く輝く校舎(写真1)は平成14(2002)年に竣工しました。それ以前の校舎は昭和30(1955)年に竣工し、現校舎建築に合わせ、鉄筋コンクリート造りの建物の法的耐用年数(47年)が近づいた時点で役割を終えました。昭和32(1957)年の卒業アルバムの中から、真新しい旧校舎(写真2)の姿を見てみましょう。旧校舎の1階部分には、校門から校庭へ抜ける通路が設けられていたことが分かり、写真の右隅には、本校のシンボルツリー『デイゴ』が若木の姿で写りこんでいます。本校は90周年を迎えた校史を踏まえつつ、『デイゴ』に見守られ、郷土に根を張り、地域に愛される学校としての魅力を高めながら、これからも歩み続けます。(教頭 吉井秀一郎)

<参考・引用文献> 創立50周年記念誌(1981年 鹿児島県立古仁屋高等学校創立五十周年記念事業実行委員会) 瀬戸内町誌 歴史編(2007年 瀬戸内町誌歴史編集委員会)

卒業記念(1957古仁屋高校卒業アルバム 名瀬田畑写真館謹製)



写真1 (現校舎)



写真2 (旧校舎)

